

平成30年度 第2学年 授業改善推進プラン

	課題(児童の実態、学習状況、指導の実態)	改善プラン(課題の改善プラン、具体的手立て)
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の習熟はできているが、文章を書くとき、漢字を使わなかったり、書き順を間違えたりして児童がいる。 経験したことを基に、順序に気をつけて文章を書くことが苦手である。 自分の考えを分かりやすく言葉にすることが苦手である。 最後まできちんと聞かないので、大事なことを聞き逃してしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 読み書きの基本となる文字を正しく覚え、しっかりと定着するように、朝学習や家庭学習で繰り返し練習する。 毎週日記の宿題に取り組み、漢字の定着を図る。 日々の授業の中で、必ず発言する機会を設けたり、朝の会でスピーチをしたりして、声を出すことに慣れさせる。 「聞き方名人」の紙を掲示し、意識付けや声かけをする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 計算ミスをする児童が多い。 繰り下がりが定着していない児童がいる。 場面を思い浮かべず、問題に出てきた数字だけを用いて立式する児童が多い。 かけ算九九を問題文のなかで上手く使えない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝学習や宿題でプリント等を活用し、繰り返し計算問題に取り組みさせる。 文章題では、場面のイメージを全体で共有し、立式の根拠が説明できるよう様々な手段で確認していく。 九九カードや認定証など、児童が楽しみながら九九を覚えられるようにする。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 自分が住んでいる自宅周辺の限られた場所で遊ぶことが多く、校区全体のことを知らない児童が多い。 命を大切にすることという理解できているが、生き物を育てる経験が少ない。 表現力を高める活動が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 町探検をし、自分たちが住んでいる町にどんなものがあるのか知り、愛着をもてるようにする。 自分の野菜を育てたり、虫(ヤゴ)を飼ったりして、実際に経験させることで、気付きを深めていくようにする。 わかったことを新聞やポスターなどにまとめる活動を計画する。 地域や異学年児童との関わりの中から、自分や他者の良さに気がつけるようにする(おもちゃランド、地域の方へのインタビュー)
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 豊かに身体表現できる児童もいるが、恥ずかしがる児童もあり、個人差がある。 鍵盤ハーモニカの指遣いに気を付けて演奏できる児童が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な場や形態で歌う機会を取り入れる。 リズム唱やリズム打ち、身体表現を通して、音楽で表現する楽しさを味わえる雰囲気作りをする。 鍵盤ハーモニカなどを使って、だれもが簡単な演奏をできるようにして、音を奏でる楽しさを味わわせる。 タンギングや指遣いに気をつけ、正しいリズムで吹けるよう繰り返し練習する機会を取り入れる。
図工	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりに工夫をして表現できる児童が多いので、力を伸ばしていきたい。 友達の作品のよさを見つけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 材料や道具の特性にあった教材を用意したり、技法を指導したりして、表現方法がより広がるようにする。 作品を鑑賞する時間を確保し、ワークシートを活用しながら、自分の作品を振り返ったり、友達のよさを見つけたりすることができるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ルールを工夫しながら活動できる。 勝敗にこだわりすぎる児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カードを活用し、楽しみながらもルールを工夫したり、動きのポイントを確認したりできるようにする。 振り返りの時間を大切にして、「励ましていた子」や「負けても次のことを考えて行動できた子」などを紹介し、勝敗よりも楽しむことや協力することの大切さを感じさせる。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 学習を実際の生活と結びつけて生かすことができない。 善悪の判断を正しくできない児童がいる。 自分本位に物事を考えてしまう児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実態に合わせた資料や題材を取り上げる。 自分の生活を振り返る時間を設置する。 日々の指導の中で、善悪について継続的に指導をする。